

29番（黒岩幸生君）〔登壇〕

おはようございます。新政和クラブの黒岩幸生でございます。けさの運勢、佐賀新聞を見たんですけれども、私、1月ですけれども、「北からのおいしい話は聞き流そう。もうけ話特に危険」と書いてあります。北というのはどこかなと考えましたら、よく考えたら、北の席は30番でした。だから悪いほうをとらずに、きょうは要らんことと言われるが谷口議員が北ですね。（笑い声）だから悪いほうにとらずに、南のほうは市長のおんさあですね。（笑い声）だから、非常に色よい返事ができるものと期待して、一般質問をしたいと思います。よろしく願いいたします。

今回は、3月議会の延長線、つまり合併後の検証について、さらに質問を続けてまいりたいと思います。

3月議会では、北方町や山内町の特徴を生かしながら、合併の調整をしていかなければ、中央だけが栄え、地方は、つまり山内と北方は周辺部となり疲弊していくという一般質問をいたしました。これは初日の話もありましたけれども、上野議員やったですね、プール問題のときも、中央はプールがあるけれども、北方はないとかいう話ですね。だから、中央はある程度あるんですけれども、地方はない。だから、地方の特徴を生かして合併していかなければ、中央にだけ寄ってしまうという話をしたんですね。

また、余剰財源につきましては、つまり1市2町で合併したことによって、2人の町長が要らなくなったんですね。そして、助役、収入役、教育長も3分の1に減りました。議員も合併前は56人いたんですけれども、30人と、26人が削減されたわけでございます。もちろん削減したその分は、市民の皆さん方に還元できる、返すことができる。そう信じて合併したのに、ここ3年近くなりますけれども、住民の皆さん方からは余り、全くと言っていいほど、「合併してよかった」という声がなかなか聞こえてこないわけでありまして。このことを3月議会で主張をいたしました。

また3月議会で、私がここで一般質問した後に、大変多くの皆さん方からいろんな電話がかかりました。武雄市民病院は医師不足、財政難で民営化しなければならないと言ったときも大変多くの抗議と励ましの電話がかかりました。そのときは反対派に対してはいつまでも話をされたんですけれども、今度の場合は、悩みなんですよ、市長。こういうことなんですよという悩み。なかなか難しかった。その中に、特に一番ひどかったのは、「北方町や山内町は武雄に吸収合併されたとやなかか」という声もあったぐらいでございます。つまり、あんたたちは人員ば削減した、削減したと言うばってん、おいどんにはいっちょんはね返ってこんということですよ。むしろ自治体が大きくなったことで、我々の声が届きにくくなった。全く聞いてもらえんごとなったという、そういう苦情の電話であります。もちろん、私自身、そのような言葉が出るということは、私の議員活動が不足しているということは大いに反省をいたしております。

さらに私は3月定例議会の中で、合併前は北方町、山内町には、町長初め四役、そして職員さんも山内が93名、北方は87名おられて、町民の皆さん方に対してきめ細かな対応がなされてきた。しかし今日、北方、山内では役場縮小に対する組織、そして心構えがまだできていないとしか言いがたく、これでは北方町や山内町は取り残され、周辺部となり、地域間格差が助長されていると住民の方々が思われるのは、至極当然のことだと、3月議会では具体的な資料を上げて質問をいたしました。何かあれば本庁に聞かなければならないとする姿勢や態度ではなく、北方町、山内町の支所長の裁量権、つまり許認可権を大幅に認め、そして住民サイドに立った支所運営をすべきではないか。さらに、長年親しんできた北方町や山内町の役場が地域の核としての役割、心のよりどころとしての役割を1市2町がある程度融和、つまり先ほど申しましたように、役場縮小による組織や心構えがある程度できるまで、当分の間、いろんな意味での役場機能を残しておくべきだと主張いたしました。分庁方式や継続事業はその後どのように検討されたのか、まず最初の質問といたします。

議長（杉原豊喜君）

角政策部理事

角政策部理事〔登壇〕

おはようございます。お答えいたします。

経過でございますが、振り返ってみますと、合併協議におきましては、市の組織・機構について、本庁につきましては市全体に係る施策、政策、総合的な調整事務、管理事務及び支所に所管する区域以外の市政に関する事務を所掌すると。支所は本庁において処理する事務を除き、合併前の町の区域に関する事務を所掌すると。合併後につきましては、中・長期的に組織・機構の見直しを行い、簡素合理化に努め、規模の適正化を図るものとするというふうに協議されまして、本庁方式とするということになっております。この確認に基づきまして、現在の組織・機構となっております。今後もこの核に基づいて組織・機構の見直しを行っていきいたいというふうに考えております。

議長（杉原豊喜君）

樋渡市長

樋渡市長〔登壇〕

今後については、私からお答えをいたします。

まちづくり部であります。このまちづくり部棟については、皆さん御案内のとおり、新幹線用地になることから、移設の必要性について、もともと検討をされておりました。その際に、本庁のどこかにするであるとか、いろんなさまざまな検討をなされましたけれども、私といたしましては、新幹線の用地の確保状況等によりますけれども、23年度にまちづくりすべてを北方支所に移したいというふうに思っております。この1つの理由としては、支所機能の、やはり私としても悩ましいところがありますけれども、やはり今までなれ親しんでい

ただいた支所を活用するという。それともう1つが、これは黒岩議員に頑張っていたいただきましたけれども、34号線のバイパス、あるいは北方の中央の道路であるとか、今後さまざまな公共事業等が発生をしまいいります。その拠点とすること。そして、そこにやはり核があることが大事だというふうに工事の判断をいたしましたので、繰り返しになりますけれども、23年度にはまちづくり部を北方支所に移設をいたします。

以上です。

議長（杉原豊喜君）

29番黒岩議員

29番（黒岩幸生君）〔登壇〕

まちづくり部を移すということですかね。ありがとうございます。やっぱり心のよりどころ、いろんな意味で、やっぱり市役所が減れば、役場支所が減れば、心もやっぱりさびてくるんですよ。私が言いたいのは、先ほど政策部理事も申されましたけれども、どうしても大きいところはやっていくんですよ。こういう方針でやっていく、こういう方針でやっていくと。しかし、現場はどうかということですね。3月定例議会でも言いましたけれども、現場はそうっていないと、今。3年たつけどね。その話を3月議会でもしたんですよ。だから、上でやろうと思っても下まで届いていない。その実態が今の状態だということですね。（パネルを示す）

これは3月議会でも言いました、資料の1です。これは3月議会で言いました杏花苑のある団地ですよ。だから民間宅建業者が開いて、10戸ぐらいの家ができた。その一番奥に杏花苑ができたですね。だから、このところ、手前ですけども、バスが通るんですね。バスが通るため、両方が側溝ですから、狭いということで、平成17年度に山の後ろ側、こっちが西側入り口です。東側入り口のところは平成17年にしたんです。それから年次的にやっていくんだという話がとまっているんですよ、今。それと、見たらわかりますけれども、道路の高さ、ここから上にずっと上がっていつている。左側の家が、家見えるでしょう。左側、私は大変よくしてもらった人で、この人がやっぱりこの道を何とかせにゃいかんという、Kさんなんですよ。一番角のところの側溝が高いものですから、家のほうに雨の日は入っていくんですよ。水が入っていった。それは小さな穴でしょう。小さな穴であっても、家では大変ですよ。それで、これを何とかしてほしいということで、よく直接言わんやったねと思いますけれども、何とかしてほしいということで、区長さんに相談して、役所に来たんですよ。役所は何と言ったか。確かに軽微なものですよね。家にとっては大変なこと。「セメントばやあけん、我がでせろ」ですよ。職員の名前は言いませんけれどもね。そういうことがあった。

私が言いたいのはそこじゃなくて、次の2番ですかね。（パネルを示す）これは花島鳴瀬線ですよ。ここ花島板金さんですよ。そこからずっと行って、こっちの先は花島幼稚園に

入る道なんですよ。手前を見てわかりますように、拡幅してあつですね。立派な側溝までついと。通常、私たちが指摘したのは、先の見通しがなければ拡幅なんかしてきていないんですよ、北方の場合はですね。どう見ても先の拡幅ができるようなところじゃない。それをしてあるわけです。しかし、ここは区長さんの要望でありますし、こっち側に五、六軒ありますからね。これはわかるはわかります。私が問題にしたいのは、その先ですよ。ここ、全面舗装してあるんですよ。一部ですけどね。普通、全面舗装といえば、その路線全部、つまり悪いところは国道で丸ばつけちゃあですよ。その部分を補修するんですよ。しかし、全体的に傷んで、どうしようもない。つまり補修より全面舗装がいいときには全面舗装するんですね。そういう仕方をしてあるんです、ここは。それもこの先が幼稚園ですので、幼稚園までみんなすれば、早目にしてくれたな、子どものためだなと了解しますよ。しかし、これはこの家のためですよ。家の前ですよ。しかもこの家はある議員の奥さんの実家ですよ。これは議員案件じゃなかとですか。議員案件わかりますよね。（「議事進行」と呼ぶ者あり）そういうことは……

議長（杉原豊喜君）

質問中は受け付けません。

29番（黒岩幸生君）（続）

よかて、受け付けにゃあ。あんたのとこや。（笑い声）

〔6番「ちょっと、議員案件で一言も言ってません」〕

今、宮本議員の奥さんの実家だそうです。しかし、議員案件じゃないということでございますので、それは取り消します。

〔6番「私は一言も言っていません」〕

一言も言っていないということですよ。だから市役所で まあいいですよ。1軒だけしてあるんですよ。ここは見えないので、これはさっきの道路を反対から見たところですよ。右側がちょうど側溝があいて、さっきの道路が入り込んだところですね。ここのところですよ。ちょっと色が違いますので、わかりにくいかわかりませんが、そっちはようわかあでしょう。ちょうど家のここんとこまで舗装しちゃあですよ。1軒だけ。今、議員案件じゃないとみずから言われましたから、じゃあ何でこういうことをするのかですよ。何でこういうことをするのかで、傷んどったけん、質問しよつですよ。私は執行部に聞きよる。（発言する者あり）私の発言に言うなら、議長、時間とめなさい、話しますから。こういうことがあるんだと地元の者は何と言っているかということですよ、私に。だから見に行ったんじゃないですか。しかもここの弟さんのところも全面舗装しとあやなかですか。だから、そういう苦情があったから、名前も言わんで私はこういうことはいかんやろうと言いよつとです、全面舗装でけんでしょうと言いよおでしょう。だから、人の質問を黙って聞きなさいよ、わからんやったら。何か言ったですか、宮本議員の名前言うたですか、私一回でも。

議長（杉原豊喜君）

私語を慎んでください。質問を続けてください。

29番（黒岩幸生君）（続）

だから質問は、微妙なところいきますよ。私は不正は絶対許さん。だから不正と思うところは執行部に聞きますよ。武雄の議員に負けんですよ。何で負けるですか。一生懸命ですよ。3月議会も言いましたように、北方を背負って絶対負けなつもりですよ。だから言いますよ、悪いところは。北方はたったこれだけの穴をふさいでくれなかったて。言うたでしょう。武雄は全面舗装してあるて。これから書類を出しますけれども、その前段じゃないですか、何でとめるんですか、人の話を。もとに戻りますけどですね。そういうことで、屋上屋の舗装をしているんじゃないかと。片一方はしなくてですね。それが3月、一回出しましたけど、維持管理が変わっていくんですよ。そこに行きますので、だからそういう、これは市民が聞いたら絶対不思議がりますよ、私はそう思います。自信と確信を持って言います。何でこういことになるんですか。なぜ北方と武雄でひずみが生じるんですか。答弁をお願いします。

議長（杉原豊喜君）

松尾まちづくり部長

松尾まちづくり部長〔登壇〕

議員御指摘のその2路線ですね、北方のほうのあそこは杏花苑の入り口の部分ですけど、ここは開発行為でもってつくられた道路であって、今現在、市道に認定されていないという状況です。それで、あと花島のほうは市道ということでの、市道と市道じゃないという、まずその違い。

それともう1つは、全面舗装というのは、建設課として道路パトロールをやっております。それで、月2回の道路パトロール。そして道路維持の担当が毎日ぐるぐる回りながら、補修をしていくという状況です。そういう状況の中で、花島の分が、レミファルトでずっとぼつんぼつんと補修するわけですね、維持係が。そういう状況の中で、花島の分が路面が悪かったと、レミファルトの補修がいっぱいあったというところから、ここは補修したほうがいいのかという道路パトロールの報告から、今オーバーレイという表層部の化粧だけですね。そういう舗装をしたというところでございます。

議長（杉原豊喜君）

29番黒岩議員

29番（黒岩幸生君）〔登壇〕

だから苦しい答弁要らないんですよね。全面舗装してある。それも1軒分だけ道路が傷んで考えられないて、常識で考えて。だから花島保育園ですか、幼稚園ですか、そこまで全面的にするときには全路線が傷んでいるというですから。だからそうすると、ほとんどそうなるんですよね。北方の杏花苑、大変なところですよ。それは市道にも編入していただけない。

北方町道としてもらうときも大分悩んだんですよ。しかし、困るのはだれですか、開発業者ですか、市民ですか、税金を払っている市民じゃないですか。基準に合わないからとか、そういうのは解決してやるのが執行部ですよ。確かに境界も違う、いろいろな違いありましよう。それをもらって、あそこまでなしたんですよ。それでもバスが来てどうしようもない、住民の要望。その人たちはみんな税金払っているんですよ。先のところも払いよんさあでしょう。さっきのとは杏花苑より問題があるじゃないですか。そのことに触れませんがね。だから、それは武雄と北方が差があると思われんような行政をしてくださいと。市長はじゃあ今度まちづくりを持ってこようかと言っておりますので、より聞こえるようになると思うんですね。

進みませんので、次に同じ継続事業で申し上げました、山内の今山の早稲田宮前線やったですかね、あなたのところね。そこも大体21年にできる予定だった、山内の計画ではですね。それがおけている。しないということではないと思いますけどね。だからそういうことはちゃんとここで発信しなければ、待っている人は、何や武雄市と合併して何もよかことなかったたいとなりますので、その経過どうなのか、お教をいただきたいと思います。

議長（杉原豊喜君）

松尾まちづくり部長

松尾まちづくり部長〔登壇〕

議員御指摘の早稲田宮前線、これ確かに整備計画のほうに計上されております。今現在、山内のほうで路線整備をしているのが7路線ございます。それで、これは合併のときから整備計画のほうに名前が上がっておりまして、順番がついております。それで、今、ことしやっている7路線の分が終われば、次の段階では繰り上がってできるという状況になっております。ただ、議員おっしゃる21年度からできるようになつたということですけど、そこら辺が毎年の予算の都合上、若干ずれ込んでいるという状況でございます。

議長（杉原豊喜君）

29番黒岩議員

29番（黒岩幸生君）〔登壇〕

だから、山内で計画に載っていた、20、21年ですよ、できるのが。そして町長も減った、何も減ったで、大体余裕財源はなからにやいかん。それが武雄市になって後ろに来ている。やっぱり山内町民としても納得できないですよ。そんなもんですよ。道路が一番期待しておけんですね。いろんな大きなことをされているかわからん。しかし、目の前の生活する分はやっぱり守ってやるということは大事だと思います。

次は資料3ですね。（パネルを示す）これ北方町の天神免線というところです。赤線です、真ん中。これどういうところかと言いますと、北方の中央なんですよ、ここは。そしてここは北方役場とあるですね、武雄市役所支所ですね。それと、ここは幼稚園、ここは小学校で

すね。だから、北が34号線が通って、旧道のど真ん中から南へ抜けた道路なんですよ。六角川のほうにですね、市長。だから、この特徴というのは、北方がどうやってやってきたかといえますと、まず、ここ炭鉱町やった。北方炭鉱のあったところです。そして山崎電工さんと石橋鉄工所があったんですね。そこに真ん中に天神免線ができた。しかし、山崎電工さんは倒産したんです。そして、労務整理のために土地を売って払われた。だから、そこに家が建っていったんです。石橋鉄工所さんも同じことで、積水団地が入ってきたんですね。そして上に左側、宮原団地と書いていますよね、ここは山だった。これを切り開いて業者さんは北方町の人口増対策のために協力して建てていただいた。徳永団地、これも山だったんです。ここにも家が張りついた。これは水がみんな天神免線に流れるんですね。これ積水団地は一部こっちに流れますけれども、集中するんです。それが一定、下に青く書いていますけど、色ついとらんですかね。これが鉄道の下を通って六角川に入ってくるんですね。だから市長、見らんぎあいですが、つまり中央線があって、そこは側溝がついていた。こっち山を切り開いて家を建てた。こっちも家を建てたんですね。そしたら、みんなこの側溝に入ってくる。最初の計画が狭い。そういうことで、そしてまた、水の速さが山と宅地違いますよね。鉄砲水が出ますね。そういうことで雨が降ったとき、ここら辺つかる。通学路もつかるということですよ。だから、ここら辺のところ、側溝の整備と、そして道路もつからんようにしてほしい。こういうのが出てくるんですね。最初、町民のためにつくった。しかし、人口増対策、家を建てていった。そしたら道が狭くなり、水路が狭くなり、先ほどの杏花苑のところも一緒ですね、いろんな問題も抱えている。しかし、それを解かなければ、前に戻って、前の業者に解けと、無理ですよ。そういうことで、これは北方の象徴的なことですので、ぜひともここを水路改良と、そして道路のアップをしていただきたいと思いますけれども、答弁を求めます。

議長（杉原豊喜君）

松尾まちづくり部長

松尾まちづくり部長〔登壇〕

御指摘の道路、これは我々も現地を見に参りました。それで、その結果、議員おっしゃるとおり、側溝だけでできるんじゃないだろうかという、今まだ完全な測量できていませんけど、側溝の整備だけでうまくできるんじゃないだろうかというところから、早速、まず測量を試みよう。それでもって測量して、側溝だけの整備で済むのか、もっと別のことを考えにやいかんのか。側溝整備、そしてもう1つは路盤上げですね。これを前向きに検討したいということにしております。

議長（杉原豊喜君）

29番黒岩議員

29番（黒岩幸生君）〔登壇〕

北方は川添川排水ポンプがあるですね。その高さというのは、海拔以下ですよ、マイナス0.5ですよ。だから、六角川の水は流れんとですよ。ただ、潮が引いて上がってくるところなんですよ。だから非常に先ほどのところも天神免線も相手が六角川ですから、排水が物すごい難しいところですね。そこに鉄砲水が入りますので、やっぱり高さを、どうしても道路を上げにやいかんところがあると思いますね。それ、ぜひお願いしたいと思います。

先ほど言おうと思った、宮本議員からやかましく言われたけんですね、ちょっと言い損のうたですけども、実は結局は、道路維持費ですけども。(パネルを示す)19年、これは3月議会に出したんですね、19年のは。だから今度少し勉強してきて、21年ば出してみたいんですよ。そしたら、ぜひ部長思うてほしい。北方町は4,200万円、5,100万円入れて、今2,000万円ですよ。山内も横ばいです、1,100万円から3,500万円であって。武雄だけが4,000万円からずっと右肩上がり。今1億2,000万円、3倍になっとなんですよ。これ文句言いよっしゃなかですよ。だから北方町はいろんな事情があって、道路と住宅に力を入れてきた。3月に言いましたよね、市長。武雄は文化教育、それから観光事業に力を入れてきた。いいじゃないですか。山内は環境に力を入れてきた。そういうのをお互い特徴を出しながらしていかなければ、道路だけ見れば、こういうことになりますよと。この後に、さっきの話でもいいですよ、全面舗装を。言えないでしょう。もう答弁要りませんが、傷んだときは全線しますよ。少なくとも北方はそうでした。

それから、武雄市の地域婦人連絡協議会の活動補助金とあるですね。(パネルを示す)いろんな補助金を調べさせていただいたんですよ。これも一緒ですから、部長、考え方が、市長ね。これが合併前は武雄市が9万円、山内町が27万円、そして北方町は36万円の補助金があったんですよ。だから、きのう初日やったですかね、上野議員からも出ておりましたけれども、武雄はいろんな団体でいろんな仕事をしよると。婦人会の活動の規模と中身と組織いろいろ違うわけですね。北方は何かあれば婦人会に頼みよったですよ。何でんしてもらいよったですね。運動会から何か全部ですよ。しかし、だからこれが違うんですね。組織も違うし、活動も違うんですよ。これが合併後どうなったか。執行部は持つとんさろうばってんですよ。合併後こうなったんですよ。合併前、武雄市は9万円やったのが合併後は56万円ですよ。山内町は27万円やったのが8万円です。北方町は36万円やったのが8万円に変わっておるです。これは下に書いてありますように、武雄市婦人連絡協議会に同額の補助金、つまり72万円は一緒なんですよ。だから、こういう考え方になりやすいというんですね、市長。各種補助金もこういう考え方で結構多い。そしたら北方は36万円が8万円に削られたえとしか私みたいなげすは思わんですね。これはもちろん、上野議員とか山口議員がいらっしゃいますので、これは話できているんだらうと思いますので、婦人会の話やめますけどですね。市長、平準化すると、必ずこうなりやすいんですよ。だから、特徴を生かして考えていただきたいと思うんですね。

そこで、道路ですけれども、部長、まとめますけれども、だから、そこそこの特徴を生かしながら、市長も一緒ですよ、そこそこの特徴を生かして、当分の間は北方のやってきたこと、山内がやってきた自然としてすり合わせるという、ぜひほしいと思いますけれども、道路で答弁を求めます。つまり同じレベル、北方はこのくらいやあぎ舗装ばしよった。武雄はしよらんやった。そのかわり文化教育に力入れておった。農免道路も一緒ですよ。農免道路、毎年伐採しよった。合併したら、しとらんですもんね。杉岳の川内さんから言われた。「合併したぎ何もしてくれんたいえ」て。そういう声が出るんですよ。私たちは骨身を削って合併して人件費減らしとるけん、ぜひともある程度続けていただきたいと思いますが、道路については、同じレベルぐらい維持するという言葉が欲しいですけれども、答弁を求めます。

議長（杉原豊喜君）

松尾まちづくり部長

松尾まちづくり部長〔登壇〕

議員御指摘のとおり、武雄市の道路整備というのは、整備水準というのがちょっと北方、山内に比べて低かったと。それを合併後、同じ基準で整備しようとしたときに、どうしても武雄のほうがおくれていたから、武雄のほうに、延長も長いんですけど、武雄のほうに予算がどうしても取られてしまったというのは、確かにございます。ですから、今、平準化という言葉が出ましたけど、極端にぽっと一発で平準化するんじゃないくて、税金もじわじわと平準化するという形になっていますので、道路のほうも各支所のこれまでの基準を尊重しながら、支所に優先順位をつけてもらおうと。そして、予算枠も要求してもらおうという形での整備をしていきたいというふうに思います。

議長（杉原豊喜君）

古賀副市長

古賀副市長〔登壇〕

お答えいたします。

道路維持についてでありますけど、資料によりますと、平成16年、北方町4,300万円、山内町1,100万円。それから、17年度が北方町5,100万円、山内町3,500万円。18年度、北方町3,500万円、山内町1,600万円と、金額的に見ますと、大変北方町におかれましては、力を入れていらっしゃるという理解をいたしております。その後、平成19年、20年と約2,000万円程度の予算ということになっておりまして、今御指摘のことが言われているんじゃないかなと思っております。

今年度につきましては、現在の予算規模としては約3,000万円程度、山内町、北方町にも各配分をしておりますし、今回、経済対策等で交付金等がありますので、その分を合わせますと、一番高額でありました平成17年度ベースの5,000万円程度には維持費の予算措置をす

るというように計画をしているところでございます。

議長（杉原豊喜君）

29番黒岩議員

29番（黒岩幸生君）〔登壇〕

私、次の質問があって、結局、道路だけに見えるかしらんですけど、市長、これからですよ、私が質問したいのは、だから今までしてきたことを心温かくやれるかどうかということなんですよ、やり方は、いいですか。だから数字的に言うたのは、北方は例えば、これも3月議会で言いましたけれども、若者定住のまちづくりと考えてしてきたわけです、人口増対策をですね。これが一番要るのは、市町村のこれから心優しい気持ちがあるかどうかが入ってくるんですよ。だからよくしているんですよという話を今しました。もう少しきますけれども、結局、北方町は前も3月も言ったとおり言いますけれども、西杵団地をつくったですね、116戸ですよ。松本町長は、49年当時に町長になられたときに、ずっと炭鉱町、人口は下がっていった。それで人口が減れば気持ちが疲弊すつとですよ。何とか人口をふやそうということで、人口をふやしたいということで、西杵団地を建てられたですね、若者が見て住みたくなるような。これでは人口はふえんとですよ。市長にぜひこれ言いたいのは、これともう1つあった。もう1つは何か。49年に3歳児医療費の無料化ですよ。これが若者を打ったんですね。北方は子育てに優しい町じゃないですかと、若い人たちは見てくれる。ああそうねと、それを見て、じゃあどがんしゅうかを見たときに、西杵団地を見て、そこに住みたいと。西杵団地を見て住みたいじゃないですね。

だから、きのうですね、実は平野議員が、何とか償還払いじゃなくて、現物支給せろと言いやんさったですね。医療費無料化です。3歳児以上は、窓口で乳幼児医療費受給資格証を持っていけば300円で済むと。しかし、それ以上はできんと。できん理由をきのう話されたですね。せめて郵送でもとなされました。私、少し違うとですね。それくらいじゃ終わらうなかですね。いろんな違いがあっても、例えば、また聞いてみました、お医者さんに聞いて、お医者さんはよかと。1つは国保連合会でしょう。じゃあ国保連合会に資料を仕分けに来てくれればいいですよということです、例えばですよ。じゃあ国保連合会からすることができないか。そしてまた、足並みがそろわんと言いなさったですね。よその自治体やあけん、言われんかわからんばってんがですよ、やっぱり市長会、町村会もあります、町村長会もありますので、そこに市長が出向いていってでも、子育てに武雄頑張っていると。そういうアピールとは言いませんけど、そういう動く姿勢が欲しいんですよ。これ3月定例会も必要だと言ったですよ。だれが言われたでしょう、3月定例議会のときも。保育園の定数が150から120に変わるときに、何で子どもたちに相談せんやったか。ただ変わるだけで終わったとか。入れなかった人がいるんですよ。抽せん漏れた人。今度の4月からそこに行くんねと、じいちゃんが言うた。ああ行こうと思った人が抽せんに漏れたとき、どういう考え

方をするかて。皆さんが結局こたつの中にゆっくりして、子どもが外で泣いているじゃないかと、雪の日。そういうことをしていると言うたですね。何でもっと行政は考えてやらんとかと。一緒ですよ、市長ね。前向きでいつも言われるように、してみようと思わんですか。ほかの足並みをそろえてやってみようや、声をかける。それやなかったら、国保だけでもやる。大体ここは国保ですからね、運営はね、社保より。それは市民の皆さんがおるけん、そっちもせないかん。しかし、国保連合会に言ってしようかと、それが起爆剤になっていくんですよ。だから、ぜひ、私が一番してほしいのは、なるかどうかわかりませんが、武雄市長が国保でこうしていったと、写真が載るような、そういう活動をしてもらいたいのはこっちですね。

もう1つは、やっぱり北方町は今人口が減っていますので、ふやすために、ぜひ若者が住みたくなるような市営住宅を、それも北方小学校近くにぜひつくっていただきたい。もう877戸が改築時期に来ておるとい話もありますよね、市営住宅。しかし、それはそれですけども、そういう転換。それは北方中央線、大分武雄市会議員からぼろくそ言われましたけれども、今度バイパスができればすばらしいところになるんですよ。あの近くにとかですよ。ぜひこの2つを、若者定住型の市営住宅ができないかと。それから、ぜひとも子育てについては、窓口に行くだけで済む、現物支給。ぜひともそれにもっと動いてほしいと思いますけれども、担当課も含めて、何とかなさんかと。おぼれて死のうごたあときは、どがないとんすっでしょうが。そのくらいの気持ちになって、ぜひとも頑張っていたきたいと思えますけれども、市長の簡単でいいですけど、決意をお願いします。

議長（杉原豊喜君）

樋渡市長

樋渡市長〔登壇〕

このごろ気づいたことがあります。私が1人で行くというのも相当力が実はあるということだと思います、市長です。それとともに、議長あるいは議員と一緒にいくと、1足す1が10とか100になるということですので、先ほど国保の関係につきましては、私と議会のしかるべき方とぜひ行きたいというふうに思っております。それが市民の声だというふうになりますので、ぜひその際にも議長を初めとして、お取り計らいをお願いしたいというふうに思っております。

そして、先ほどの若者の市営住宅でありますけれども、既に御案内のとおり、もう建てかえの時期がかなり来ております。今のところ、私たちの方針では、現地に建てかえるのではなくして、先ほど話がありました、北方の場合だと、北方の中央のところにも市有地があります。そうすることによって市民負担を抑えながら建てかえをすることができるということになりますので、私たちとしては、もともと松本町長さんが行われていた、若者が住みたいという北方、それをぜひ今回の建てかえのときに、そういった気持ちを持って行ってまいりた

いと考えております。

以上です。

議長（杉原豊喜君）

29番黒岩議員

29番（黒岩幸生君）〔登壇〕

がばいばあちゃんの市長もいいですけども、子育て応援の武雄市長と、ぜひそういうキヤッチフレーズが欲しいと思うんですね。市長、「親の背を見て子は育つ」とあってですね、私が言わなくても。子を見れば親がわかると言いますね。やっぱり市長が心優しい行政を目指せば、職員さんも目指してくれるものと思うんですよ。例えば、市長と職員2人で歩きよお。向こうから市民が来る。市長が「おはようございます」と言うぎ、職員はこうはせんと思うんですね。言いとうなかってん、ちかっと頭下げんさあかわからん。階段ば上るときでん、ばあちゃんが上りよるとき荷物ば取ってやあですね。そしたら、職員も加勢しとうなかでも加勢しんさあかわからん。それが癖になっていくんですよ。ぜひともそうしていただきたい。きょう残念やったとは、私、書類を持ってきよった。そいぎ、私は直接顔は見たことあるけど、名前知らない人が、「きょうは何ですか」と。「パネル展ですよ」と言うたぎ、「ああ、写真もしんさあですか」と言いんさあけん、「いや、こい一般質問ですよ」と言うたと。そこはうれしい会話ですね。3階上ったら、3階、きょう何がありよったか調べたらわかりますけど、職員、私の顔見てぼっと横行きんさったですね。まだ私売れとらんけん、しょうなかですけども。市長、合併する前の年、松尾初秋議員が北方の物産展に来られた。本人忘れているかもしれせん。私よく覚えていますよ。そのとき何と言われたか。「北方すごかね。職員さん、だいでんあいさつばしんさあ」と松尾議員言われたです。それまでそがん深いつき合いなかったですけどね、それはすばらしかったです。あいさつすっけんよか、いかんじゃなかですよ。それは公務員さんも労働者やけん、大いに労働者の権利出していいと思う。しかし、心のどこかに1カ所でも「働いてやっているんだ」ではなく、一部でもいいですから「働かしてもらっているんだ」という気持ちを持ってほしいと思う。そのためには市長はやっぱり率先することですよ。この前、出たですね、市長、水戸黄門しよったて。北方あたり回りよんさったでしょう、諸国漫遊ですね。悪代官こらしめるより、やっぱりおばあちゃんとかおじいちゃんと話してやる、話をして、市長さんと会うたばいて、これがよくなっていくですよ。先ほど道路も維持管理せると言ったですね。だから、こけることは悪うはなかつですよ。気持ちの問題ですから、ぜひともこれは続けてほしいと思うんですね。

何か執行部ばかりに言いよおごたあばってん、議員も一緒だと私は思うとおです、私は。私はいつも市民の目が光っていると思いますからね。いつもびしっと、いつも見られておると思うと。だから、間違っても領収書を改ざんして銭をもらおうとかせんですよ。物見遊山的な研修もせん。まして言いますけど、犯罪だ犯罪だと証拠もないのに言い続けて、懲罰

食らう。それでも反省せん。そんな議員は絶対おれは認めん。また市民の皆さんも絶対そういうのは認めんですよ、姑息な手段は。私はそう思います。だからいいですけど、執行部との質問ですからね。市長、ぜひ悪い例はやめて、いい例をぜひ心優しい行政をしていただきたいと思います。

道路問題について質問ですけども、実は3月26日に古賀誠代議士に会ってきたんですよ。古賀誠代議士は、ぜひ話したいということでございましたので、3月25日までが3月定例議会でしたね。だから文字通り飛んで行ったですよ、終わるや否や。だいでん黒岩は腹かいて帰ったばいという話があったぐらい慌てて行きました。何で古賀誠代議士に会ったかといいますと、これは実は昨年12月の選挙ですね、市長選挙のときに久津具に入ったんですね。当時、樋渡候補と一緒に入りました。今、市長ですけどもね。そして、市民病院の民営化ということでお話をしました。財政問題、医師不足の問題のときは、民営化しかないということで話を久津具でしたんですね。そのときに私に言われたのは、ところで34号線バイパスはどうするとか。私がひそかに思いよったとは、それまでは北方町は2区ですからね、北方町は陣内参議院議員に物すごい世話になっておる。なぜならば、あの人の後輩が国土交通省のお偉いさんでおおけんですよ。だから陣内先生を通して、一生懸命陳情をしてきて、江北まで何とかなるかなというところまで来よったとですよ。しかし、商工ローンで出られなかった。それで困ったんですよ。どうしようかねと。そのとき山内で、西谷峠というんですか、35号線S字カーブ、そこの話をされよるとき、武雄のある、私が物すごく尊敬する人ですけども、その人と山内町議会議員さん話しておるのを見て、それで武雄の私が尊敬する人が、古賀誠さんば紹介しゅうかて言いんさった。そいば知ったけんが久津具で、いや、34号線どがんしゅうもなかけん、おれは古賀誠さんに頼もうと思うとおばいて、そのとき決心したんです。だからあのとき、その言葉になったんですね。それが12月でしょう。1月8日か9日やったと思うんですね。市長が「福岡の柳川に古賀誠さん来んさあけん、一緒に会いに行かんですか」と言いんさあけんですね、私はつんのうでいこうと行ったんですね。そしたら、稲富県議さん、原口義己県議さん、そして松尾部長ですね、それで市長と私。後ろおったぎ、いや、前に行きんさいといって、結局はそれを陳情させていただいたんですね。34号線のバイパスを。ほんなごて足の震ゆうごたった、そのときね。やっぱり買祿のあるて失礼かですけど、やっぱり大物ですよ。私は少々はひるまんけれども、ちょっとひるんだですね。しかし、34号線バイパスが昭和63年から元年にかけて買収された。買収されたけど、20年間塩漬けで、何もしてもらえんという話をしましたら、これが政治家かと思ったのは「それはいかんね」、単純ですよ。ほったらかしていくんもんか、国土交通省はいかんねと言われたね。地元は困っとおやろう。そして、「わかりました」ですよ。この普通のもの「わかりました」とは違って、ずんときたですね。そういう状態で、ぴしゃあと説明ばしとったとけと思うたのに、3月26日に出てこいと言われた。3月26日10時から代議士に会った

ら何と言われたか。地元が水害でこの路線は反対しとうてやろうと言われたんですね。この前、地元はおれは反対しとらんばいて末次区長からくるわれたばってんですね、そう言うたのは国交省ですね。地元が反対しよおけんできないということを言われたらしいですよ。水害問題、北方で一番問題になったところですけども、（パネルを示す）これは北方の全部の地図ですね。小さいかわかりませんが、この赤がバイパス用地なんですよ。ここが今通っている武雄バイパスが高速のところ来て、下において、高速を越えて34号線に乗っているんですね。これを武雄バイパスから真っすぐ今度赤線に来る。この赤の部分が今言うたごと買収してあるんですよ。もう1つは、498号線から出まして、ここ大崎保育園ですけど、そこから、ここが一番今、ドライブンふちがみのところ問題になっておる。鋭角ですね。その裏を真っすぐの北方朝日線がここなんです。この2つ抱えておりますけれども、ここ水色、これが六角側ですね。六角川と線路が近過ぎるということで、六角側左岸が築堤できなかったんですね。そして平成2年、こら辺、大水害起こしたんですよ。ということで、古賀代議士に六角川の左岸が今まで低かったですよと、そいぎ平成2年は内水じゃなくて外水が入ってきた。外水というのは、海の水ですね。六角川に入ってきた。いっぱいになったところに、この前何ミリか言いよんさったですね、平成2年ね。大雨が降った。それで大水害を起こした。しかし、平成7年にハイウオーターまでつくっていただきましたと言うたです。言うた途端、私が説明する前に向こうは、「じゃあポンプもできているんだな」、「それはもうポンプをしっかりとつってもらいました」と言うたですね。平成8年にポンプができた。そしたら即座に何と言われたかといいますと、代議士は、「じゃあ問題ないじゃないか」。これは実は、市長は詳しいけん知っとんさあとと思うんですけども、この路線はまだありますけれども、最後にしかせんという話ですね、いろいろ言いませんけど。それを「じゃあ問題ないじゃないか」と言うて、私がこっちおって、代議士こっちですね。そして原口義己さんがおられた。そして稲富県議がおって、松尾部長がおられたね。電話ぼっとられたです。「局長おるかな。ああそう、九州行っておる。いいよいいよ。後でいいよ。ありがとう」で切られた。それで終わりなんですよ。今までどんなことしていたかと、武雄の議員も一緒かわかりませんが、どういうことしておるのかということ、みんな国交省に代議士につんのうで、私たちは金魚のふんのごと後ろについて米つきバツタしてきた。陣内先生のときもそうだった。しかし、当たり前、高圧でもないし、議員案件でもないし、今言うた水に対して、じゃあ問題ないじゃないか、当たり前ですよ。そして問題ないよと言いんさっただけですよ。

そういう状態ですけども、今のところまとめますけれども、結局、今回、34号線バイパスが大きく動いたと思うんですよ。これは今言いました政治家が政治家として、ちゃんと筋を通された。きれいにですよ。いい、悪いをぴしっと。それが一番大きなことと思うんですね。それと同時に、国交省行ったときに、樋渡市長、あっちこっち行かれとおですね。樋渡

市長が来られました、来られましたと言うんですよ。これはよいしょじゃないですけども、樋渡市長は、やっぱりまめに国交省に行かれたということですね。それだけ役所に知り合いが多かったということです。これが34号線バイパスを大きく今前進させたと思いますけれども、市長から見て、この教訓を、一遍に言ってしまいましたけれども、教訓をどのように思われるか、答弁を求めます。

議長（杉原豊喜君）

樋渡市長

樋渡市長〔登壇〕

お答えをいたします。

今回6億円、もうさきの国会についております。これは国交省の本省から私のほうに直接内示がありました。そのとき言われたのが、これちょっと意外やったとですけども、私の名前が出るより、黒岩議員の名前の出たとですよ。別によいしょじゃありません。そのとき何て言われたかというぎ、その前に、入る前に杉原議長なんですよ。それはどういうことかというぎ、杉原議長は35号線、これは僕も総務省におったけんよう知っています。恐らくここまで行くやというぐらいに回っておらすとですよ、35号線の時。西谷峠の。私はあのとき杉原議長のことを余り知らんやったですもんね。山内の町議会議員さんということで。私は物すごく実は感銘を受けています。それで何と言われたかという、がん言いんさったですよ。「黒岩議長さん」て言いんさったですよ。杉原議長の時も「杉原議長さん」やったですね。そいけんが、僕は前議長さんと言ったつもりが、やっぱり議会がそれだけの意思を持って動いているということを国交省の課長が私におっしゃいました。ですので、私の教訓は、私は確かに官僚出身で、今盛んにバッシングもありますけれども、よかったなと思うのは、知り合いが数百人単位であるわけですね。私の携帯の電話の中にも300人単位で役人の、上は事務次官から下は係員まで入っています。それが今回6億円ついたというのは、その政治の力と私の持っている行政のネットワークがうまくくっついたんだというふうに思いました。そして私は今まで、ともすれば若過ぎるということで批判ば受けよったわけですね。しかし、今これがメリットになりつつあるのは、今私のちょうど同期が企画官にも上がってきとおとですね、各省。この企画官が全体の裁量を決めるわけですね。それで課長さんに「これでいきましょう」とかて言うてくるわけですね。したがって、私が本当によかったなと思うのは、今物すごく武雄にとってはいいタイミングだというふうに思っています。政治の力と行政のネットワークと。

そして私は今、水戸黄門とおっしゃいましたけれども、やっぱりかなり歩きます。よくこれは知られていませんけれども、だいでん市長さんは これは余り言うぎんた、ほかがまねされたら困りますので、市長さんは大体局長さんとか次官のところに行くわけですね。私はその昔アポとりばしよったけん、ようわかります。しかし、ようわかっとんさあ人は、特

に官僚上がりの人は係長のところに行くんですよ。係長のところに行って、頭を深々と下げて、「これぜひお願いします」というふうに言って、そして課長さん、部長さんて上がっていくけんですね。それを杉原議長に教えてもらって、そして今回は黒岩前議長としたということで、非常に議長パワーも使わせていただきました。そういったことで、これが全部100%よかったかどうかわかりません。しかし、政治は結果だというふうに思っています。そういったことで、今回このように破格の異例の措置だということをおっしゃいましたので、それは北方町民、そして北方町選出の議員のお力のたまものだというふうに理解をしています。私はその下支えをしたにすぎないというふうに理解をしております。

議長（杉原豊喜君）

29番黒岩議員

29番（黒岩幸生君）〔登壇〕

先ほど35号線も杉原議員と話しているところを聞いたんですよ。

それから、次に、北方朝日線ですけれども、北方朝日線の、これも一つの問題ですね、北方一番大きな問題ですけれども、これは平成15年、県が2,000万円つけて、北方は300万円つけたんですよ。やろうとした。やろうとしたけど、34号線バイパスが動かないということで、途中やめたんですよ、はしょりますけれども。しかし、それで市長、動き出した。ぜひともこれも今がチャンスだと思いますので、これについてもお疲れでしょうけど、と言いませから、若いからですね。ぜひともこれについても、このパワーで乗り越えたいと思いますけれども、市長、どのようにお考えでしょうか、お伺いします。

議長（杉原豊喜君）

樋渡市長

樋渡市長〔登壇〕

やはり核になるのは工業団地の整備だと思っておりますので、そういった意味からすると、34号線のバイパスと北方朝日線はセットだというふうに認識をしておりますので、よく関係部と連携をして、実現達成に向けて、また身体を動かして頑張ってまいりたいと思います。

以上です。

議長（杉原豊喜君）

29番黒岩議員

29番（黒岩幸生君）〔登壇〕

次は、水道問題に移りたいと思います。（パネルを示す）

今、白仁田のほうで上水道はできないかという話もあったんですよ。つまり北方町は平成5年、第4次拡張計画をしたときに、杉岳を簡易水道のまま上水道化したんですよ。だから杉岳はいまだに簡易水道なんです。料金は上水道です。そして、平成5年の4拡の一番最後のときに本管をつなぎまして、原田、大峠については、そこからつないだときから上水道

料金です。しかし、白仁田におきましては、当時、飲料水供給施設でしたけれども、杉岳に水源が少ないということと、下から宮裾のほうから上ってくるには多額の費用がかかるということと、白仁田の人たちがまだ若いということで、砂洗いはおいどんがするばいと。そのかわり、しい切らんごとになったときは頼むばいという話があった。これ平成5年です。調べてもらえればわかりますけどですね。今回、杉岳、白仁田を網羅することができるかもしれないのは、武雄市と合併したからですね。つまり水源が中山にある。女山峠のですね。これは途中までしか書いていませんけど、この後ろは中山地区なんですね。中山から持ってきて、牧場のところに配水池をつくれれば、そこから自然流下で流れてくる。これ今杉岳の浄水場なんです。この浄水場に結びつければ、ここ大聖寺がありますけれども、今もポンプアップしていますからね。これはそのまま残すとしましても、浄水場につなげば、杉岳、その大聖寺も含めてみんな網羅するんです。水量はありますから、横線、ここ分岐点ですね、これちょうど格納庫のところですけど、横線が走っているんですね、白仁田に向ける道路が。ここに入れてきて、白仁田、これは鳥越さんの家ですけども、これ一番高いところ。これから一番下の富永さんのところ行って、白仁田さんのところに行けば、全部水源さえあればできるんですよ。だから、中山からやったらできると。

これ標高を書いておりますので、次のページですね、(パネルを示す)標高を調べてみましたら、中山配水池が283メートル。新設すれば配水池が381メートル。昔は無理やったけど、今一気にできるですね。13気圧ぐらいかけられるっです。ということは、130メートル上るですよ。十分一遍にポンプアップできますね。そしたら、あとは自然流下で下っていけば、杉岳までずっと行く。この分岐点から横線道路に来て、分岐点181メートル。それから横に1,260メートル行けば、これ白仁田入り口なんですよ。これから一番家の上の鳥越さんのところ160メートルある。一番下の富永さんのところで110メートルで、白仁田さんが140メートルだから、ずっと自然流下で行けるんですよ。非常に後の経費もかからないということで、もし中山からもらえればですね、市長、杉岳、白仁田の人もこいがほんなごて合併の効果やなかろうかなとあると思うんですよ。ぜひとも決意をお願いしたいと思います。

議長（杉原豊喜君）

樋渡市長

樋渡市長〔登壇〕

私は武雄市民5万2,000人、どこにいても、どこに住んでいても、同じ水を同じ料金で、同じように飲むというのが大原則だと思います。そういった意味で、今までこういう不都合な状況に置いておいたことは、私は市長として心からおわびをしなければいけないというふうに思っております。

私としては、例えば、昭和で水を飲もうが、杉岳で飲もうが同じだと思いたいという思い、そして今回合併をして、合併特例債であるとか、あるいは町の規模、市の規模に応じて経済

対策臨時交付金がありますので、地元の鳥越、白仁田区長さん、そして末次北方町区長会長さん連名の要望、そして先ほどの黒岩議員からの御意見、北方町まちづくり推進協議会の提言でも、この上水道の給水は求められております。私たちといたしましては、ここに水道を引くことで、今回決意をしている次第であります。今まで御不便をかけて申しわけなかったということをおもっておりますので、これが武雄市の合併効果の一つであるというふうに認識をしております。

議長（杉原豊喜君）

29番黒岩議員

29番（黒岩幸生君）〔登壇〕

議長に申し上げますけれども、ロス時間が非常に不明確ですよ。途中で他の議員に入れられれば。前後ろありますからね、話ただけじゃ大変ですよ。そういう議会運営されれば、はしょっていきますけど、これ市長、インターを先にいきます。そうしなければ、病院問題にかなければ、時間がわからなくなりましたからね。途中に入れられて。1時間30分私の持ち分ですよ。

インターですけれども、（パネルを示す）色がついていますが、赤線。これが側道なんですよ。これも交通量が非常に多い。私はこれをつくるとき対策委員だった。ということで、当時は田んぼにあんまり影響せんごとなるだけ狭うつやせと言いなさったけん、私も大分頑張って狭うなしたっですよ。今はだいで広げてくいるという話ですよ。それだけ交通量がよんにゆうなっただすね。それで、ぜひともこれの拡幅をお願いしたいというのが一つです。これも武雄と北方と結ぶ道路ですからね。きょうの運勢のように、ぜひ色よい返事をお願いしますね。

それと、このときは載ってなかったんですけど、一番端のところ、鹿島機工さんの前のところですね、ちょうど鹿島機工に私は何十年のつき合いがありますので、その人と話しよった。ここのどがんでん危なかけん、この際、直してくれんかというわけですよ。つまり側道から来たのが少し寄ってきて、34号線が来たのが高速に乗るために左に寄ってくるですよ。お互い出会い頭の事故が物すごく多いということで、それも部長踏まえて 後で小さいこと言います。踏まえて、ぜひとも拡幅はひとつ。

もう1つは市長、これ無理じゃないお願い 無理なお願いですけどね、防犯灯を設置してほしかとですよ。防犯灯設置は「うん」と言いなさあですもんね。その後です。維持費。維持管理をぜひお願いしたいというのは、ここはどういうところかといいますと、真ん中にこれ境川なんですよ。こっちが東宮裾、向こうが朝日、地元が電気料を払うと言っても、電気料払われんですよ。これ前、たしか平野議員もおっしゃったと思います。よその人が通るとに、なし電気料を払わんばかいねと疑問を感じるばいと。武雄区の中で武雄神社の前んにきですよ。よく覚えていますがね。こういうところはやっぱり区じゃなくて、何力所か

ぴしゃっとして、必要なところだったら、やはり公費で負担すべきなんですよ。北方町はそうやってきました、公費負担をね。だからそういうことをしてほしいということと、もう1つは、こっち側に赤いあれあります。これは小・中学生が通る道路なんですよ。これも非常に危険な様相をしております。それを言えば、逆に犯罪を起こしますので、私、直接担当には理由等言っております、危ないところですね。だから、このインターの北方朝日線の近くのところと、危なかけんですね、それと拡幅、それと公費負担。この3つについてお伺いいたします。

議長（杉原豊喜君）

松尾まちづくり部長

松尾まちづくり部長〔登壇〕

議員おっしゃられる、この北方インター馬神線と言いますが、確かに交通量がふえています。というのは、大崎交差点のところを避けるという形で、ここバイパス的に使われております。それで、今言われた拡幅についても、前向きに検討したいと思います。

議長（杉原豊喜君）

大庭政策部長

大庭政策部長〔登壇〕

お答えいたします。

御質問の北方インター馬神線につきましては、朝日町の1行政区、それから北方町が2行政区、3行政区にまたがっての市道になっております。防犯灯の設置につきましては、議員おっしゃいましたように、市の防犯協会で、市の補助金等を受けながら調整をされて、設置をされております。維持管理につきましては、原則としてその行政区なり地区の防犯協会等で対応いただいております。まず、基本的には維持管理について3地区で御協議をいただいて、あと防犯協会等とお話をできればそういったところとも検討は進めていきますけれども、基本的には3地区で協議をいただきたいというふうに思っております。

議長（杉原豊喜君）

29番黒岩議員

29番（黒岩幸生君）〔登壇〕

一般質問というのは、どうなっているんですかは聞かんですよ。直接電話すればいいですからね。だから、そうなったから改善してほしいという話をしているんですから、時間の無駄ですからね。ぜひ改善するほうで検討をしてみて、できないならできないでいいんですよ。こうなっておりますと、わかっておりますよ。だから言っているんじゃないですか。

時間が大分ずれましたけれども、病院問題に移りたいと思います。

きのうまで数人の方から病院の問題について質問があったわけですが、要は簡単でいいと思うですね。移譲先として巨樹の会の追加、第61号議案ですね。これが認められない、

あるいは否決された場合は、もとの池友会へ移譲するということでしょう。単純なことでしょう。そしたら、武雄市民病院は社会医療法人になるということでしょう。そしたら10年間、9億円が入らない。これが1つですよ。

もう1つは、どういうことかといいますと、じゃあ医療提供はどうなるのかとよう言われましたね。医療提供は池友会がするんでしょう。何がおかしいかて、例えば、きょう聞きよったら、だれも知らんやったばってん、リンゴのへたのところがあるですね。へたの欲しかと。池友会という1つのリンゴですよ。へたが欲しかったり赤い部分がいろいろありますね。切りようで切れますよ。だから池友会は今、社会医療法人を目指している。時間があつたらちゃんと言いますけれども、社会医療法人を何のためねらっているか。これは非課税のためだけじゃないんですよ。今のガイドラインにのっていきよおとですよ。これはこの前、沖縄に勉強に行ってきました。もうあそこ中頭病院は1年前から社会医療法人をねらって、次の政策を打っているんですよ。だから単純なものです。しかし、武雄にとっては9億円と、大きな話ですよ。だから例えば、リンゴでへたのところだけ欲しかと。武雄市民病院だけでよかと。今いろいろリハビリ制度ついとっけんが問題になあばってん、反対に考えて、私は7月16日の一般質問で、ぜひとも誘致企業と考えたと言ったですね。しかし、当時そこだけアップされて、当時はだいでん公的医療を守れと言いよんさったときですよ。私は誘致企業やないかと言ったら、そこだけアップされたですよ。恥ずかしか話やったですけどね、当時は。しかし、私は金が欲しい。じゃあ今、池友会が武雄市民病院だけを別にしてやったらと言うたら、だいでん受くつとやなかですか。医療施設というのは池友会がやっていくんですからね。リンゴのへたの部分だけ欲しかと。なぜかと、重疊的債務引き受けですか、要するに保証する枠内よと言いよんさるわけでしょう。向こうは社会医療法人を受けるためにした。武雄は金ばもらうためにしたかというなら、当然合うじゃないですか。しかし、武雄だけ動き切らんけん、ほかのリハビリテーションつけて、金ばいつときもらわんぎ武雄は成り立たんですよ。何でこれが論議できないかと思うんですよ。私はそう思います。今度、第61号議案になりますので言いませんけれども、2つに1つなんですよ。社会医療法人をとるのか、そういう医療をするのか、10年間で9億円取るのか。これは市長、ちゃんと発信せんぎだめですよ。

なぜかと、私に手紙が来たんです。要約しますけれども、こうなんですよ。議会のあり方、議会の合意形成を非常に批判してあつたですね。議会議決とは何かと書いちゃあですよ。それから、こうですよ。こういうことばかりじゃないと思いますけれども、「反対派は批判ばかり。それも全員ではないが、市長が右と言え左。左と言え右という意見が多い。反対なら反対でよいから、どうしたらいいのか、私たち庶民にわかるように違う方法を提示してほしい」、こうですね。私も武雄市議会に来てよく言ったのは、丸い卵も切りようじゃ四角で。けちとばんそうこう、どこでん張られるねて、何回か討論でも言いましたよ。残された

時間がはっきりしませんので、もう少し先にいきますけれども、やっぱり私みたいに上がり症は順番ばつくてきとおとですよ。途中言わらさ、どこにいったかわからん。

これは吉川議員の市議会報告です。（パネルを示す）この中に市民病院清算金と書いてあるですね。市民病院清算金、「1世帯当たり約7万1,000円負担は全くのうそ」と書いてある。御安心ください。市民負担はほとんどありません。清算見込みと財源と書いてあるですね。何でこれが出たかといいますと、原因はここにあるらしいですね。これ初日やったですかね。山口議員の質問やったですね。共同通信、武雄市議会だより。この中に、残った清算金、借金、市民1世帯当たり約7万1,000円の負担と書いてあるんですよ。これを見て吉川議員が書いた。これは共同発行人ですよ。6人の方が載っております。谷口議員、小柳議員、富永議員、前田議員、吉原議員、石橋議員、6人で発行されている新聞なんですよ。市民の皆さんが見て、どちらが正しいととるかですよ。ゼロととるか、7万1,000円ととるか。大きなのはなっている。それを私が市長に言いたいのは、ちゃんとした説明、広報不足ですよ。私が怒られても思うか知らんですけど、そうですね。

市長はいつも説明されておりますけれども、この前、吉川議員が書いたとたんですけどね、清算見込みと財源ですよ。退職金、これ全く別ですね、考え方が。退職金は退職手当基金で充てますよ。私は今ずっと退職金は赤字だと言ってきた。積み立ては赤字だと。反対はみんな退職金は別だと言われた。覚えていますか。まあ、いいです。退職金、ももんこと言いません、時間ありませんのでね。企業債の10億9,000万円、これは今、10億5,000万円なんですよ。吉川議員がとられた時点が少し早かったと思う。4,000万円減って今10億5,000万円です。これ吉川議員が書いたとおけんですね。そして、長期借入金4,000万円。そして、赤字が1億7,000万円でしょう。市長ごっついと言われるごと、それに対応するために、企業債の償還10億5,000万円、私覚えたですよ。市長、清算金はゼロですと何人に言うたですか。私、しょっちゅう聞くから丸暗記するごと覚えた。何人も説明していますよね。市長はテレビを通して、個人的にもね。だから、土地建物の売却に充てる3億9,000万円、これも私問題あると思うですよ。えらい高う売ったにゃあと思うけんですね。建物が要らんと、建物を売る、ようあれで買うたにゃあて思うんですよ。そこは言わんで、反対派の人は8,000万円引くとはおかしかて。8,000万円引くときは土地から引くとですよ。時間があれば言いますけれども。交付税、民営化分、これ覚えましてよ、59掛け155床、5掛け9,000万円掛け5年でしょう。何遍でん聞いたですからね。4億5,000万円。それと、交付税、これ今まで1億5,000万円来たけど、5,000万円ふえて2億円になりましたということでしょう。市長、見落としてもう1つあつですよ、あなた言わんですけどね。未収金2億1,000万円。これは国保、社保、それから労災ですか、そこら辺がまだ2億円入る。もう1つ上、機械備品簿価2億円。これは事務長、一生懸命言いよらさばつてん、おれは余りあてにならんと思う。機械は売れん。帳面上やつけんね。後で売れんと言うとやかまし言わらさけん、5,000万円ぐらいなあ

でしょうね。これで充てるんだという話をしよるわけでしょう。

問題はここからですよ。問題は実は議事録、これ3月の定例議会の議事録ですよ。議員、一生懸命、執行部も一生懸命、これだけになりますね。分厚いですね。この中身ですよ。抜粋です。議長、いつも精査してと言いますから、言いますけれども、115ページ、古賀市民病院事務長が、最終的には清算金ですよ。12億円程度になると思いますよ。これ大河内議員が今度質問されておるですよ。清算金はどがんすつとかという質問です。その後に市長が言っているのが、清算金の財源は、先ほど言うた職員退職金は退職手当基金で充てるということですよ。その後です。企業の未償還金などについては、土地の売却代をまず充てる。23年から5年間措置される交付税、これが4億5,000万円、さっき言うた計算でしょう、59掛け155床のことですね。4億5,000万円充てるんだと。運営分としては、22年に措置される交付税、これ2億円ですよ。1億5,000万円、5,000万円ふえたということですよ。そして、その結果、22年1月末の清算時点で、一般会計の負担はほぼゼロになるて、これ言うとなさあ。次の日、また一緒のことを言うたですよ。次の日、今度は古賀副市長が説明しておるね。吉原議員ですよ。これは市長の説明どおりですよと言うたですよ。もう少し詳しく言いましょうか。未償還金として10億5,000万円程度ありますけど、土地代の売り上げを云々で、市長の説明どおりで清算金言うたですよ。これに対して吉原議員が、先月25日の新聞　これ2月ですよ。2月25日の新聞に清算金が12億円という新聞に見出しが出たと。市民が心配していると。病院を売却して借金まで残すとかと、こう言われた。大勢ではなかったですけども、市長がゼロと言いよおとに、そういう感覚を持っている方がいらっしゃいます。そのようなことで、そこら辺については、まず市報なり、ちゃんとした広報でぜひ市民に納得のいくような説明をお願いしまして、一般質問を終わらせますと、こう書いてあるんですよ。これ3月なんですよ。これが出たのが5月ですよ。7万1,000円と書いてある、負担金である。どっちが本当か、我々どうしてもわからない。だから反問権はないですけども、私の後にせっかく大ベテランの谷口議員いらっしゃいますし、前田議員もいらっしゃいますし、大河内議員いらっしゃいます。市民はこれを気になっているからですよ。ここは討論の場じゃないですけども、一般質問で反問権ないですけど、引き出して、ぜひともこれは御論議をしていただきたいと　もう答弁聞きません、時間がないのですから、思います。

建物ですよ。よう市長言わんねと思うとは、建物、ぼろ家があったですよ。ぼろ家があった土地を買うときはどうして買いますか、これを使うか使わんかでしょう、上の建物を。上の建物を使わんときは撤去費ば土地から引くですよ。これは当然わかつと思うですよ。もし上を使えば、撤去費は出さんですよ。そうでしょう。しかし、あれに書いてあったのは、池友会がもしほかんとけ自費で建つないば引くということですよ。更地で売るとのことよ、本当は。それを建物代、2億4,500万円。おいが池友会なら絶対払わん。いや、それだけ市長が市民に貢献されているということでもいいですよ、納得しますけども。だから、みんな

な誤解するのは、土地を買ってまで、そして8,000万円引くとか。必要だから買ったのであれば引くのはおかしい。必要でなかったら、更地にしてやるのが普通の不動産鑑定士であるし、取り扱いたと。あと運用だと思っんですよ。契約ですよ。どう契約するも勝手ですからね。ただでやるもいいし、浦安市川は97億円と言っんですね。私のずっと指摘してきた氷見市民病院、あれだけもめた、そこでも52億円出しておるんですよ。もっとはしよりますけれども、今は社会医療法人が何でできているかということで、今ベッド余り減少ができておるということを御存じですか。ベッド余り減少ができておるのは、佐賀新聞に載っておるんですけれども、時間が追われていますので、ばたばたしていますが、佐賀新聞の何日が忘れまされたけれども、黒字化というのが載っておったですね。その右の下のところに載っておるのが、黒字になすためには、まず収入をふやす。ベッド利用率を上げるということですよ。お医者さんがおらん。そいば何とかすって書いちゃあですよ。しかし、今まで限られたエリアで限られた売上金、そこがいきなり努力しますと書きますよね。黒字になすためには簡単なものでよね。収入をふやして支出を減らすでよかとやあけん。そういうガイドラインが新聞に出ておりましたね。だから今、そういう時代じゃない。じゃあ医者がおらん、収入はふえない。自治体はどうすると思っんですか、ベッドを減らすんですよ。これがベッド余り減少なんですよ。そういうことだから、この前、先ほど中頭病院に行って見てきたのが、社会医療法人なんですよ。つまり中頭病院が敬愛会に名前変えたですよ。何でですか、社会医療法人とるために変えるわけですよ。民間は努力しますよ。いや、皆さんも努力しよおですけどね。だから、はしよりますけれども、敬愛会が3月1日、社会医療法人をとったんです。私はここは去年も行きました、ことしも行っってきました。今度は保守系の5人の方が来ていただきました。しっかり勉強していただきました。ここでは社会医療法人とは、これは敬愛会の新聞ですよ、広報じゃありませんけれども、沖縄県知事より認可され、非営利性が高くここですよ。非営利性が高く、公益性の高い医療法人として公的病院と同じ位置づけがなされました。意味深でしょう。これ私、3月定例会にここで言うたですね。社会医療法人とは。つまり自治体病院を優先的に引き受けることができるから、どんどんどんどん今、社会医療法人ふえているんですよ。きのう現在、佐賀新聞社の記者さんに聞いたら52ですね。私が3月質問したときは12ですよ。沖縄に行っったときは30ですよ。今52。これはベッド余り減少をどうするか。思い出してください、中頭病院、ここは医者不足と、医者の余ったところですね。16年から新医師臨床研修制度が始まった。しかし、ここは12年からそれに対応して。そして、社会医療法人を目指している。そして、とった。次は西表島ですよ、ここが見ておるのは、余り名前出すなとくるわれたけん、言わんですけど、そのこの県立病院ですよ。みんなそして努力しているんですよ。だから池友会も一番したいのは、恐らく私が思うには社会医療法人で次の展開だと。じゃあ武雄市はどうするか。武雄市はその戦争に入る必要はないから、やっぱり巨樹の会、何でもいいですよ、武雄市民病院。武雄市に金

の来っごととしてくいと。医療は池友会でちゃんと保証せろ。申し入れ書を見ましたね。目が悪いけん大きくしましたけども、この申し入れ書には、巨樹の会と福岡保健学院と池友会と3つ一緒に申し入れしとおわけでしょう。もし不安なら、3人一緒に保証人書かせてよかでしょうもん。それ技術的にできることですよ。だから、技術的にできることと方針とをごっちゃませしておる。だから、丸い卵も切りようじゃ四角論法に対してはきちんとした説明、反問権はないですけど、そう言われたときは、ちゃんと市長が聞き直す。そして、それでも足らなかったときは、広報は病院ですか、やっぱり本当のことを知らせていくというのが一番大事だと思うんですね。もう3分ですから、提案してあと1分や。何分。だから、提案をどんどんしていきたいと思います。ぜひそういうことをお願いしたいと思います。

だから、片一方は池友会を初めから信用せんぎ、その人ば保証人に幾らつけとってても一緒ですよ。信用せん人は、論外ですよ。だから信用すれば、その人が保証するとしたらいいわけでしょう。これ通り一遍の話だと思うんですね。あとはどうせ池友会に対しても言うていかにやいかんわけですからね、今から。強制力持っていないかんわけですから。一緒のことだと思います。むしろやりやすくなったと私はとりますね、巨樹の会。

大分、宮本議員から怒られまして、話がどこか走りましたけれども、労務問題。看護師さんたちも労働者ですので、やはり話ば今されよおとですかね、されよったらされよるでいいですけども、将来どうなっていく。市長、よく現給保障と言われますね。それは皆さんにちゃんと行き届いているかどうかですよ。ここでよく言われますけれども、それは話し合いを私はすべきだと思うんですね。私は当初、氷見市民病院、いろんなところを見たときに、解雇問題、かわいそうだと思った。そしたら、やっぱり少くぐらい金をつけ加えても、池友会に加えてでもやるべきと思った。しかし、反対派のみんなから「金ば出すとか」って言われたけん、もうやめました、その話は。そういう考えは。しかし、私は変わっていくんですから、手厚くしてやるべきですよ。行く人はね、やっぱり同じ条件で、それ以上よかって心は変わりますからね。ぜひとも看護師さんたちも温かい思いやりをやってほしいと思うんですよ。そこら辺をちゃんとしなければ、これ以上言いませんけれども、やっぱり職員さんたち不安で仕事ばしにくいかもわからんですね。苦情の出とおとは言わんですよ。不安なためだと思います。だから、ぜひともその不安を取り除くためにも、どうせガチンコせにやいかんとやっけんですよ、話し合いをして、いつときも早い必要があると思います。

そして、最後ですけども、病診連携、病病連携、病施設連携進んでいると言いましたね。しかし、私はここ3月定例議会の中で病施設連携。宮福には「ぼっかぼか」持っております。それで、回復期かれこれについては、うちで引き受けますよと言われておった。ある人は非常にいいことだと言われました。市長じゃないですよ、病院の方ですね。しかし、そういうことであれば、自分も世の中いくために、覚書でもと言って行かれたとが、けんもほろろに断られました。どちらが本当なのか。本当に池友会が進めようとしているのか、病診連携、

病病連携、病施設連携を。本気と思えない面がありますので、答弁を求めます。 答弁な  
かろう、もう。では、終わります。指摘しておきます。  
以上、終わります。